

編集後記

★ 今年の1月にハワイで行われたPGA (Professional Golfers' Association) ツアーで松山英樹選手が72ホールで通算35アンダーをマークし、PGA ツアー史上最多アンダーパー記録を樹立しました。本誌72(8) [2021年7月]の編集後記でも松山選手のマスタース優勝について書きましたので、ゴルフの話題ばかりになってしまうような気がしますが、今回の新記録も歴史的なことですので取り上げさせていただきました。マスタース優勝の際もアジア人で初めての快挙であり、日本中のゴルフファンの衝撃は大きかったのですが、今回のPGA ツアーの新記録樹立も驚くべき快挙であります。米国メジャーリーグの大谷翔平選手もそうですが、世界のプロスポーツ界における日本人選手の活躍は目覚ましいものがあります。

★ われわれの医療業界ではどうでしょうか？ 近年、働き方改革、ワークライフバランスなどのキーワードが取り上げられることが多く、以前のようにずっと病院にいたことはなくなりました。スポーツ界と比べることはできませんが、世界一などのトップレベルになるためには想像を超える練習が必要です。医療でも卓越した技術を身につけようとしたら、たくさんの経験を積む必要がありますが、現在の医療現場では寝食を忘れて取り組むということができない時代となっております。もち

ろん、志の高い若手・中堅の先生方もおり、そのような先生方は自己研鑽という名目で経験を積んでいることと思います。

★ このような話をすると少しブラックな印象となる昨今ですが、自分の技術向上のために多くの仕事をすることは悪いことでしょうか？ 実際には、そのような先生方はいわゆる「仕事」と考えているのではなく、自己成長や自己実現のためのライフワークと考えて医療を行っているのだと思います。きれいごとのように感じる

方もいるかもしれませんが、仕事（医療）をやらされているのではなく、自分のために好きでやっているのだと考えます。ワークとライフを分けているのではなく、そこに境界は存在しないのです。医療を対価を稼ぐ仕事と考えると、ライフワークと考えるのには大きな価値観の違いがあり、臨床力（医療技術）の獲得にも雲泥の差が生じます。昨今、「直美」という言葉をよく聞くようになり、専門医研修を行わずに直接、稼ごの良い美容外科へ

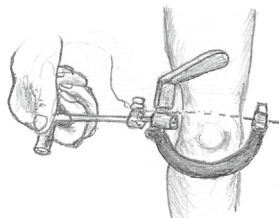
進む若い先生が多いとのことで、今後の医療業界に不安を感じます。

★ 医学における日本の研究力が落ちていることがしばしば指摘されます。研究もワークとして行っている限りは、今後も低下していくことと思いますが（もちろん研究をライフワークと考えて素晴らしい仕事をされている先生方もいらっしゃいます）、研究だけでなく臨床力も低下しないように願います。

(稲葉 裕)



Martin Kirschner (1879~1942)



Ueber
Nagelextension
Die wenigen bisher
bekannt gewordenen
Erfolge der Godavit
1909



生田義和 画
2025-2

顧問	林 浩一郎	石井良章	中村孝志	高岡邦夫	長野 昭	四宮 謙一
	岩本幸英	星野雄一	越智光夫	遠藤直人	大川 淳	
編集	松田秀一	竹下克志	安達伸生	稲葉 裕	吉井俊貴	

臨床雑誌 整形外科 76巻・3号(3月号, 第917冊)
編集兼発行者 東京都文京区本郷三丁目42-6
印刷所 東京都江東区亀戸七丁目2-12

2025年3月1日 発行
小立 健太
三報社印刷株式会社

発行所 株式会社 南江堂 〒113-8410 東京都文京区本郷三丁目42-6 編集 TEL 03-3811-7619 FAX 03-3811-8660
https://www.nankodo.co.jp/ 営業 TEL 03-3811-7239

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著作者の権利は、(株)南江堂が保有します。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

広告申込所: 〒113-0033 東京都文京区本郷5-24-6 本郷大原ビル6階 文京メディカル TEL 03-3817-8036